

第5章 2024年5月24日（金）：総武緩行線他 錦糸町～御茶ノ水～神田 晴れ

本路線は、2024年5月24日（金）晴れ、横須賀線の西大井駅から品川駅まで踏破後の歩きとなった。（第6章第4節で記載）



※横浜駅（再掲）

<本日のプラン（再掲）>

- ①小田急・相鉄線で横浜まで移動。そして、横浜から横須賀線で西大井まで移動。
- ②横須賀線つい歩き（西大井～品川）
- ③品川～錦糸町まで総武本線で移動。
- ④総武緩行線つたい歩き（錦糸町～両国～浅草橋～秋葉原～御茶ノ水）
- ⑤中央本線つたい歩き（御茶ノ水～神田）
- ⑥神田から山手線で御徒町へ。先日ロストしたサングラス購入、サンマルクカフェで休憩。
- ⑦王子駅に移動しみどり生命時代の仲間と懇親会。
- ⑧京浜東北線、山手線、小田急で自宅へ

＜総武緩行線などつたい歩き＞

総武緩行線などの各駅舎到着時刻は次の通り。なお、この総武緩行線の浅草橋～御茶ノ水までの区間は、フコク生命時代千葉ニュータウン通勤の際利用させてもらった路線で懐かしくなった。

錦糸町(12:56)～両国(13:36)～浅草橋(14:12)～秋葉原(14:28)～御茶ノ水(14:53)～神田(15:17)



※錦糸町駅

①13時18分、日本相撲協会と記した野見宿禰(のみしゅくね)神社で本日の安全を祈願する。沢山の外国人の参拝の姿(添乗員付き)があった。大江戸線の両国駅、鉄道沿いにある飲食街を経由し、両国駅には13時36分到着。駅前のいろいろ庵きらくで蕎麦を頂く。



※両国駅への路



※両国駅



※駅構内の”きらく”でランチ

②13時45分、JR線下を潜り鉄道の左側となる。12時48分、隅田川土手（遊歩道）に出る。遊覧船が通過して行く。遊歩道を200m位歩き、万歩計で309歩ある両国橋を渡る。スカイツリーが遠くに見える。14時2分、75歩あるグリーン柳橋を渡る。舟宿と記した小松屋があった。沢山の宴会ができる舟の姿があった。ウォーキングを通じて見覚えのある高根沢町立小学校（栃木県）の修学旅行バスが停車していた。14時11分、篠塚稲荷神社前を通過。浅草橋駅には14時12分到着。浅草橋駅は冒頭にある通り千葉ニュータウン本社に通勤の際、3年余経由した駅（都営浅草線の乗り継ぎ駅）であったので懐かしくなった。





※隅田川土手散策



※両国橋を渡る



※柳橋を渡る



※浅草橋

③浅草橋東口駅から西口駅にかけて、高架下に商店街が広がっていた。しかし、この素晴らしい商店街には3年余この駅で途中下車したが気が付かず。本日、秋葉原駅まで歩きを通じて新しい発見をする。秋葉原駅昭和通り改札口には14時28分到着。総武線に沿った商店街には、第93回わいわい会（2024年3月20日（水））で立ち寄った土風炉があり懐かしくなる。秋葉原駅を種々のアングルで撮影して御茶ノ水駅を目指す。





※秋葉原駅への路



※秋葉原駅

④鉄道に追った道筋を歩く。途中で中央本線も合流する。総武線、中央本線、丸ノ内線が合流する神田川沿いにある御茶ノ水駅には14時53分到着。神田川に跨るお茶の水小橋を渡るとこの駅があった。少し離れた先に千代田線の新御茶ノ水駅があった。



※御茶ノ水駅への路



※御茶ノ水駅

⑤御茶ノ水駅は、近くに損保会館があったので日本アクチュアリー会例会の会場として何度も利用させてもらった駅で懐かしくなった。損保会館を經由し神田駅を目指す。神田駅には15時17分到着。神田駅も、2021年、東京国際アクチュアリーアカデミーの会議室があったので何度か下車した駅であったので懐かしくなった。



※神田駅への路、損保会館



※神田駅

⑥本日、18時より、王子駅界隈の魚荘でみどり生命時代の仲間と懇親会。2時間位余裕があったので、御徒町駅で途中下車し、ART スポーツに立ち寄り、先日飯田線の旅でロストしたサングラスを購入する。それでも時間があったのでサンマルクカフェに立ち寄り休息。そして、16時50分頃この店を出で、魚荘に向う。そして18時前から約3時間、楽しい懇親会となる。本日は、飲み会に加え、総武緩行線など鉄道つたい歩きし、改めて大東京の素晴らしさを堪能できる充実した一日であった。日帰りの旅もいいものですね。



※アートスポーツ、サンマルクカフェ



※魚荘で締め